

令和6年度企業向け研究開発助成事業一覧(ふくおかIST・福岡県関係)

(R6.5.23現在)

No.	所管	事業名	事業趣旨	期間	予算上限	補助率	公募開始	提案〆切
1	ふくおかIST	令和6年度IST研究開発FS事業(スタートアップ研究会枠)	新技術・新製品開発へ向けた研究会の取組を支援。福岡県内中小企業等を中心とした複数機関からなる研究会であること。	1年	最大50万円	10/10	R6.3.5～	R6.5.10
2	ふくおかIST	IST研究開発FS事業(プロジェクトFS枠)	新技術・新製品開発を支援。国等の大型事業への提案を目指す福岡県内中小企業等を中心とした複数機関からなる研究プロジェクトであること。	1年	200万円	10/10	R5.12.5～	R6.1.26
3	福岡県(商工部中小企業技術振興課)	新技術・製品開発支援補助金	新たな需要が見込まれる分野への参入を目的とした「ものづくり」を支援。	1年	500万円	1/2	1次:R4.11.24～ 2次:R5.1.20～	1次:R5.1.19 2次:R5.3.16
4	福岡県(商工部中小企業技術振興課)	令和5年度・令和6年度 賃上げ実現に向けた福岡県中小企業生産性向上緊急支援補助金	福岡県内の中小企業等が省力化又は省エネ化により生産性を向上させ、賃上げを行うために、県が設置する「福岡県中小企業生産性向上支援センター」による支援を受けている企業を対象とする補助金。	交付決定の日から R7.3.10迄	大規模支援 1,300万円 小規模支援 200万円	2/3	R5.12.27～	R6.12.27 ※予算額に達し次第、 募集終了
5	福岡県(商工部中小企業技術振興課)	脱炭素社会実現のための省エネ新製品開発支援補助金(二次募集)	将来の需要を見越した省エネにつながる新製品の開発 例)高効率な冷暖房設備や加熱機器等の開発、新工法(溶接レス、熱処理レス等)によりCO2削減につながる製造装置や製品の開発、廃棄物のリサイクルによる新製品開発、エネルギーハーベスト機器の開発、不燃木材の開発など	交付決定の日から R7.3.3迄	500万円	1/2	R6.5.24～	R6.6.27 ※17時まで
6	福岡県水素グリーン成長戦略会議	製品開発支援事業	水素エネルギー関連技術の向上を図り、水素エネルギー産業の育成・集積を図る目的で、福岡県水素グリーン成長戦略会議会員が行なう製品開発の支援事業を募集するもの。水素に加え、関連するエネルギー等(アンモニアや合成メタン等)に関する製品開発を支援対象。①可能性調査枠、②事業化研究枠がある。	①1年 ②3年	①500万円 ②1,000万円	10/10	R5.3.22～	R5.4.19
7	福岡県バイオコミュニティ推進会議	福岡バイオ産業創出事業	バイオテクノロジー及び関連分野で新製品・新技術の研究開発・事業創出等を支援。①可能性試験 ②育成支援型 ③育成支援型(特定地域枠:久留米) ④育成支援型(バイオものづくり枠) ⑤実用化支援型 ⑥機能性食品枠がある。	①1年 ②2年 ③2年 ④2年 ⑤2年 ⑥1年	①100万円 ②400万円 ③250万円 ④400万円 ⑤800万円 ⑥200万円	2/3	R6.3.25	R6.4.22
8	福岡県バイオコミュニティ推進会議	福岡県製品開発プロジェクト研究会事業	食品・化粧品などのバイオテクノロジー製品の開発について、専門家の招聘や調査研究などを支援する。	1年	50万円	10/10	随時	随時
9	ふくおかIST	【令和6年度】 グリーンデバイス関連製品開発支援事業	パワー半導体等のグリーンデバイスに関連する開発を支援。事業期間内に半導体のサンプル完成が見込まれること。福岡県半導体・デジタル産業振興会議会員であること。	1年	可能性試験枠:200万円 製品開発枠:500万円	1/2	R6.4.1～	R6.5.24 ※17時まで
10	北部九州自動車産業グリーン先進拠点推進会議事務局	【令和5年度補正】 CASE等関連技術開発支援補助金(二次募集)	県内の自動車関連産業に携わる中小企業を対象に、CASE(コネクティッド、自動化、シェアリング、電動化)やカーボンニュートラルに係る新製品開発や新分野参入への取組を支援。	1年	1,000万円/年	中小企業 2/3 その他 1/2	R6.3.14～	R6.8.30
11	北部九州自動車産業グリーン先進拠点推進会議事務局	【令和5年度補正】 電動化参入支援製品開発補助金(二次募集)	県内の自動車関連産業に携わる中小企業を対象に、完成車メーカーや完成車メーカーに直接部品を供給するメーカーの電動化関連の課題の解決に繋がる製品・生産設備の試作や開発を支援。	1年	1,000万円/年	中小企業 2/3 その他 1/2	R6.3.14～	R6.8.30

令和6年度企業向け研究開発助成事業一覧(経済産業省・文部科学省関係)

(R6.5.23現在)

No.	所管	事業名	事業趣旨	期間	予算上限	補助率	公募開始	提案〆切
1	経済産業省	成長型中小企業等研究開発支援事業(Go-Tech)	中小企業等が、ものづくり基盤技術及びサービスの高度化に向けて、大学・公設試等と連携して行う研究開発等を支援。 ※令和6年度においては、第2回公募を行うことは現時点で予定なし。	2年又は3年	【通常枠】 3年間で9,750万円 【出資枠】 3年間で3億円	2/3	R6.2.16～	R6.4.16
2	経済産業省	事業再構築補助金(第12回)	ポストコロナの時代の経済社会の変化に対応するために新市場進出、事業・業種転換、事業再編またはこれらの取組を通じた規模の拡大、思い切った事業再構築に意欲を有する中小企業を支援する。第12回公募では、既存の事業類型を見直し、今なおコロナの影響を受ける事業者への支援などを重点化する。  ①成長分野進出枠(通常類型)②成長分野進出枠(GX進出類型)③コロナ回復加速化枠(通常類型)④コロナ回復加速化枠(最低賃金類型)⑤サプライチェーン強靱化枠⑥卒業促進上乗せ措置⑦中長期大規模賃金引上促進上乗せ措置	1年	※企業規模によって上限が異なる。 ①100～6,000万円 ②100～8,000万円 ③100～3,000万円 ④100～1,500万円 ⑤1,000万～5億円 ⑥ ①～⑤の上乗せ支援 ⑦100～3,000万円	※中小の場合 ①1/2 ②1/2 ③2/3 ④3/4 ⑤1/2 ⑥1/2 ⑦1/2	R6.4.23～(R6.5.20～電子申請受付開始)	R6.7.26 ※18:00まで
3	経済産業省	ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金(第18次)	今後複数年にわたり相次いで直面する制度変更(働き方改革や被用者保険の適用拡大、賃上げ、インボイス導入等)等に対応するため、中小企業・小規模事業者等が取り組む革新的な製品・サービスの開発、生産プロセス等の省力化を支援する。第17次募集は「省力化(オーダーメイド枠)」のみ募集。	最遅でR6.12.10迄	従業員数 5人以下:100～750万円 6～20人:100～1,500万円 21～50人:100～3,000万円 51～99人:100～5,000万円 100人以上:100～8,000万円	中小企業1/2 小規模企業者等2/3 ※補助金額が1,500万円迄の場合	【公募開始】 R6.1.31～  【申請開始】 R6.3.11～	R6.3.27
4	科学技術振興機構(JST)	研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)	大学・公的研究機関等で生まれた科学技術に関する研究成果を実用化することで、研究成果の社会還元を目指す技術移転支援プログラム。 研究ステージに応じて①産学共同(育成型)、②産学共同(本格型)、③実装支援(返済型)がある。	①2.5年 ②4.5年 ③3年	①1,500万円 ②2,500万円 ③5億円	10/10	①R6.5.1～ ②R6.5.1～ ③R6.4.1(随時)	①R6.6.18 ②R6.6.18 ③R7.3.31
5	科学技術振興機構(JST)	大学発新産業創出プログラム(START)プロジェクト推進型 SBIRフェーズ1支援	各省庁等から社会ニーズ・政策課題をもとに提示された研究開発テーマに対して、大学等の研究者による独創的アイデアにより研究者自らが概念実証(POC)や実現可能性調査(FS)を実施し、大学等発スタートアップの起業や、大学等発スタートアップを含む既存中小企業(設立15年以内)への技術移転に向けて、新技術の事業化を目指す。	8ヶ月程度	750万円	10/10	R6.3.6～	R6.4.17
6	科学技術振興機構(JST)	大学発新産業創出基金事業 ディープレック・スタートアップ国際展開プログラム(D-Global)	社会・経済に大きなインパクトを生み、国際展開を含め大きく事業成長するポテンシャルを有するディープレック・スタートアップの創出を支援	最長3年程度(R8年度末迄)	原則 3億円程度まで	10/10	R6.4.16～	R6.7.17 ※正午まで
7	NEDO	<予告> 脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラムの公募プロセスの業務運営・改善提案等に係る調査	水素サプライチェーン構築に際して必要な要素技術開発に加え、規制整備や国際標準化のために必要なデータ取得等を支援することを目的とする。研究開発項目I～Vに関して、必要な研究開発等を行う。 I:「大規模水素サプライチェーンの構築に係る技術開発」 II:「需要地水素サプライチェーンの構築に係る技術開発」 III:「水素ステーションの低コスト化・高度化に係る技術開発」 IV:「共通基盤整備に係る技術開発」 V:「総合調査研究」	最大4年			R6.7月中旬～(予定)	R6.8月下旬(予定)
8	NEDO	木質バイオマス燃料等の安定的・効率的な供給・利用システム構築支援事業(木質バイオマス燃料(チップ、ペレット)の品質規格の策定委託事業)	早生樹等による国産木質バイオマスの生産・供給に関するNEDO内外の取組情報を収集し、成果、課題、解決策を整理すると共に、これらを木質バイオマス利用の意義と合わせて発信することを通じて、燃料用国産木質バイオマス生産・供給の普及を目指すための調査を行う。	1年	1,000万円	10/10	R6.5.21	R6.6.24 ※正午まで

令和6年度企業向け研究開発助成事業一覧(その他の助成金)

(R6.5.23現在)

No.	所管	事業名	事業趣旨	期間	予算上限	補助率	公募開始	提案〆切
1	市村清新技術財団	新技術開発助成 第113回(令和6年度 第一次)	独創的な新技術の実用化を支援する。提案技術が特許出願されていることが必要。また、開発段階が実用化を目的とした開発試作であり、実用化の見込みがあること。	1年	2400万円	4/5	1次:R6.4.1~ 2次:R6.10.1~	1次:R6.4.20 2次:R6.10.20
2	市村清新技術財団	<予告> 地球環境研究助成	地球環境の保全、中でも地球温暖化対策に係る重要課題解決のための研究テーマを行う大学、公的研究機関に対し助成を行う。	最長3年	500万円	10/10	R6.9.10~ (マイページの取得は R6.7.16から可能)	R6.9.30
3	(公財) 荏原 畠山記念文化財団	2024年度 研究助成公募	国内の大学・研究所等に所属する研究者または、学識があると認められる個人・グループに対して、(下記分野のうちいずれかの)研究内容に関して助成を行う。 ①「風水力・流体機械」 ②「環境・エネルギー・バイオマス」 ③「半導体製造装置及びプロセス」	1年	1件当たり70万円 (3分野×各3件の計9件)	10/10	R6.1.18 ~	R6.3.18
4	柿原化学技術研究財団	令和6年度科学技術研究助成事業	福岡県の新たな産業の振興に寄与するような産学による共同研究又は個人の研究に対して、研究助成を行う。 (1)特別課題 ①医療福祉の向上に寄与する研究②半導体、AIに関する研究 (2)一般(公募)課題 ①バイオベンチャー等育成事業 ②先端科学技術開発等の育成事業 ③福岡バイオバレープロジェクトに関連する事業	1年	(1)①②300万円 (2)①②200万円、 ③100万円~300万円	(1)4/5 (2)①②4/5 ③5/5	R6.5.7~	R6.6.10
5	飯塚研究開発機構	研究開発支援事業	筑豊地区、旧炭産地域の企業に特化した研究開発補助金。 ①製品試作補助金、②調査研究補助金、③実用化開発補助金がある。	1年	①30万円 ②100万円 ③250万円	①9/10 ②2/3 ③2/3	R6.4.1~	①R6.10.31 ②③R6.5.17
6	飯塚研究開発機構	医療・福祉関連機器開発支援補助金	医療・福祉関連機器産業への参入を目指し、新製品開発に取り組む県内中小企業を支援するための補助金。 ①医療・福祉関連機器開発補助金、②医療・福祉関連機器製品化調査試験補助金がある。	1年	①300万円 ②50万円	1/2	R6.4.1~	①R6.5.24 ②R6.11.30
7	(公財)福岡県リサイクル総合研究事業化センター	令和6年度福岡県リサイクル総合研究事業化センター研究開発事業(研究会)	福岡県における循環型社会の構築に寄与し、実用化が見込まれるリサイクル技術の開発及び社会システムの構築に関する共同研究であって、次のようなテーマに取り組むもの。 ・新規性が認められるリサイクル技術の開発及び社会システムの構築 ・既存のリサイクル技術・システムの生産性を向上させる取組みなど	最長2年	年間100万円程度	10/10	R6.1.22~	R6.2.9 ※採択件数が予定数に満たなかった場合、随時受付
8	久留米リサーチ・パーク	可能性試験	久留米市内の中小企業が技術課題の壊滅のために研究機関の技術相談やこれに付随した予備的試験を利用したい場合に補助するもの。	1年	10万円	10/10	随時	随時
9	久留米リサーチ・パーク	令和6年度 久留米市ものづくり支援事業	久留米市内の中小企業の新製品・新技術開発を支援する。 ①育成支援型、②実用化支援型がある。	1年	①110万円 ②330万円	2/3	R6.4.1~	R6.4.30 (R6.4.26までに事務局への事前説明が必要)
10	ふくおかフィナンシャルグループ企業育成財団 (キューテック)	研究開発助成金	九州、山口地域に本社があるベンチャー企業・中小企業の新技術、新製品開発を支援する。	1年	500万円	10/10	R6.5.1~	R5.5.31
11	三菱UFJ技術育成財団	2024年度第1回研究開発助成金	創業後または新規事業進出後5年以内の中小企業で、優れた新技術・新製品等を自ら開発し、事業化しようとする企業を支援する。	1年	300万円	1/2	第1回:R6.4.20~ 第2回:R6.9.20~	第1回:R6.5.20 第2回:R6.10.20
12	北九州市	中小企業技術開発振興助成金	新技術・新製品等の研究開発に挑戦する中小企業のための助成金。北九州市に事業所を有していること。	1年	500万円	2/3	R6.4.1~	R6.5.15
13	北九州市	【令和5年度補正】 電動化参入支援製品開発補助金(二次募集)	新規性、独自性に優れ、かつ実現性の高い環境技術の実証研究等に対して、その研究開発費を助成する。北九州市内の中小企業が対象。 ①実証研究(事業化チャレンジ枠)②実証研究(一般枠) ③社会システム研究 ④FS研究	①1年 ②3年 ③1年 ④1年	①1,500万円 ②1,000万円 ③④200万円	①2/3 ②1/3 ③2/3 ④2/3	R6.4.15~	R6.5.17

No.	所管	事業名	事業趣旨	期間	予算上限	補助率	公募開始	提案〆切
14	北九州市	北九州市サーキュラーエコノミー基盤形成促進事業費補助金	産業廃棄物の再生利用や減量に寄与する効果が大きいと認められる設備の導入やその前段階としての技術的検討及び市場・経済性等の調査研究(FS調査)に要する経費の一部を補助することにより、サーキュラーエコノミー推進のための基盤形成を図ることを目的とする。 ①設備導入事業 ②調査研究事業(FS調査)	～R7.3.14	①1,000万円 ②200万円	①1/2 ②2/3	R6.5.1～	R6.5.31 ※16時まで
15	公益財団法人 北九州産業学術推進機構	産業用ロボット等の導入前検証補助金	産業用ロボット等の導入を検討する北九州市内の中小企業に対し、産業用ロボット等導入の事前検証やFS(実現可能性調査)に要する費用(費用対効果の算出、業務分析、システムの検討等)の一部を補助する。	～R7.2.28	200万円	2/3	R6.4.30～	R6.6.14
16	北九州産業学術推進機構 (FAIS)	シーズ創出・実用性検証事業	北九州市に所在する大学研究機関が実施する下記分野の可能性を検証する研究開発を補助するもの。 ※「自動車」「ロボット・AI・IoT」「医療・保健・介護・福祉」「革新的ものづくり」の四分野	1年	200万円 ※12件程度採択	10/10	R6.4.4～	R6.5.9 ※17時まで
		実用化研究開発事業	実用化が見込まれる新技術・新製品の研究開発に対して補助 ※「自動車」「ロボット・AI・IoT」「医療・保健・介護・福祉」「革新的ものづくり」の四分野について、産学連携で研究開発を実施する市内の企業等が対象	1年	500万円	中小企業 2/3 中小以外 1/2	R6.4.4～	R6.5.9 ※17時まで
		未来産業イノベーション創出事業	実用化が見込まれる新技術・新製品の研究開発に対して補助 ※「半導体」「自動車」「グリーン」の3分野について、研究開発実施する市内の大学等研究機関、企業等が対象	1年	①大学等研究機関 単独研究:300万円 企業と共同研究:1,000万円 ②市内企業:1,000万円	①10/10 ②中小2/3 中小以外 1/2	R6.4.4～	R6.5.9 ※17時まで
		衛星データ利活用実証・新技術開発事業、宇宙関連機器新技術開発事業	「衛星データ」「宇宙関連機器」等の研究開発を実施する市内の大学等研究機関、企業等を補助。	1年	大規模枠:500万円 一般枠:200万円	大学等10/10 中小2/3 中小以外1/2	R6.4.25～	R6.6.13 ※17時まで
17	(公財)九州先端科学技術 研究所 (ISIT) グリーンイノベーション推進 室 ※福岡市の補助金制度	【令和6年度】 福岡グリーンイノベーションチャレンジ補助金	脱炭素の分野をビジネスチャンスと捉え、カーボンニュートラルに資する製品開発等の新たな事業を展開する中小企業等を支援し、グリーンイノベーションを推進することを目的とする補助金。	交付申請 日～ R7.3.31	200万円	1/2	R6.4.8	R6.6.7 ※17時まで